Revonia Select　オーブンレンジ（家庭用）保証書　持込修理

本書は、お買い上げの日から下記期間中、故障が発生した場合に、下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に製品と本書をご持参・ご提示いただき、お申し付けください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先などは、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、ご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間中でも次の場合には原則として、有料とさせていただきます。
（イ）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下、移動、輸送などによる故障および損傷。
（ハ）お買い上げ後の地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、煙害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定以外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障および損傷。
（ホ）一般家庭以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（ヘ）本書のご提示のない場合。
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
6．本書は、盗難、火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料期間修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、またはご相談窓口にお問い合わせください。
※譲渡・転売・中古販売・オークション・個人売買・リサイクル店などによる販売品については、弊社の責任の範囲ではありません。
※保証期間経過後の修理や補修性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※修理ご依頼品のご持参及びお持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料及びその他の費用はお客様のご負担となります。
※保証の範囲は、修理・交換を限度とします。また、故障その他による逸失利益、その他製品使用上で生じた直接または間接の損害については、その責任範囲に含まれません。
※出張修理を依頼され、本体に原因がないと判断した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。（出張修理対象製品のみ）

ご販売店様へ：必要事項をご記入のうえ、お客様にお渡しください。

品番	RV-MW100V		
保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）	保証の条件
	本体	1年	持込修理
お買上げ日	年　月　日		
お客様	お名前　様 ご住所 電話		
販売店	販売店名 ご住所 電話　印		

※個人情報の取扱いについて
弊社は、お客様の個人情報の保護に関する法律を遵守し、お客さまの個人情報の保護に努めます。
お客様の個人情報は、弊社製品の保証・アフターサービスのみに利用し、他の目的には利用いたしません。
お客様の同意なしに第三者への開示・提供を行うことはありません。
弊社は、お客様の個人情報が適切に管理されるよう、業務委託先に対して指示・監督を行うなど充分な注意を払います。

エスケイジャパン株式会社
【ご相談窓口】〒818-0063 福岡県筑紫野市桜台2-23-2
TEL.092-921-4210　Eメール：revoniasupport@qtk.co.jp
電話受付時間　午前10時～午後1時、午後2時～午後5時（土・日・祝日を除く）

(C)A26

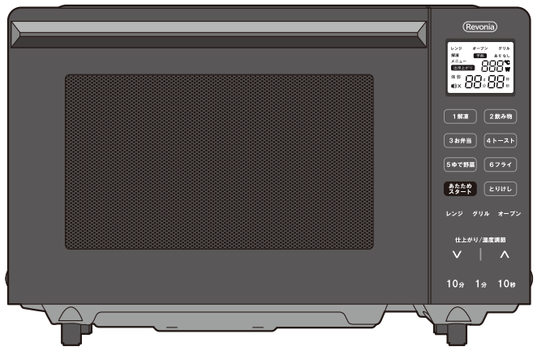
オーブンレンジ（家庭用）取扱説明書

Revonia Select

品番 **RV-MW100V**

保証書付（裏表紙）

このたびは、オーブンレンジをお買上げいただき、
誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を
よくお読みいただき、
正しく安全にご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不都合が生じたときにお役立てください。



製品は日本国内用に設計されていますので、
国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

まず、付属品のご確認を！……1
安全上のご注意……1～4
据え付けについて……5
各部のなまえ……6
正しい使い方……7
容器について……8
調理のときのお願い……9
解凍する……10
飲み物をあたためる……11
お弁当をあたためる……12
トーストを焼く……13
野菜をゆでる……14
フライをあたためる……15
手動料理（レンジを使う）……16
加熱の目安……17
手動料理（グリルを使う）……18
手動料理（オーブンを使う【予熱あり】）…19
手動料理（オーブンを使う【予熱なし】）…20
レンジを上手に使うポイント……21
レンジ加熱の目安……22
お手入れについて……23
修理サービスを依頼する前に……24
修理サービスについて……25
仕様……25
保証書……裏表紙

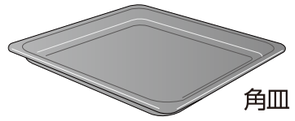
上手に使って 上手に節電

まず、付属品のご確認を!

付属品

取扱説明書
（保証書付 裏表紙）





角皿

付属品が割れたり、紛失した場合はお買い上げの販売店までお申し付けください。（有料）

安全上のご注意　必ずお守りください

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

このオーブンレンジ（家庭用）は、食品の解凍・加熱料理のためのものです、これ以外でのご使用は、絶対にしないでください。この用途及び一般家庭用以外（業務用等）でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不都合については、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

表示について

※ここに表示している『安全上のご注意』は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
『危険』『警告』『注意』の3つに大別してお知らせしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 危険	取扱いを誤ると死亡または重傷を負う可能性が高い内容を表示しています。
⚠ 警告	取扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示しています。
⚠ 注意	取扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示しています。

表示の例

※お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています（下記はその一例です）。

	△記号は、『警告や注意を促す』内容のものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）を示しています。
	⃠記号は、してはいけない『禁止』内容のものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
	●記号は、必ず実行していただく『強制』内容のものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差込みプラグをコンセントから抜く）を示しています。

※お読みになった後も、お使いになる方がいつでも見られる所に、保管してください。

⚠ 危険

改造は絶対しない。
また、修理技術者以外の人が分解したり修理しない。



分解禁止

●火災・感電・ケガの原因となります。
修理はお買い上げの販売店または、ご相談窓口にご相談ください。

吸気口・排気口やすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。



禁止

●感電やショートして発火の原因になります。

⚠ 警告

使用前に、包装材はすべてを取り除く。
包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、または廃棄する。



強制

●調理運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。
●かぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息の原因になります。

差込みプラグの刃に付いたホコリは取り除き、乾いた布でよく拭く。



強制

●火災の原因になります。

電源コードを束ねたり、引っ張ったり、重いものをのせたり、加熱したり、加工したりしない。



禁止

●電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。

電源コードが傷んだ場合は危険なため使用しない。
（お買い求めの販売店にご依頼ください。）



強制

●そのまま使用すると発火や感電の危険があります。

液体やその他の食品を密封容器に入れて加熱しない。



禁止

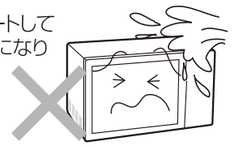
●爆発の原因になります。

水をかけたり、水につけない。



水場使用禁止

●感電やショートして発火の原因になります。



100g未満の食品をプリセットメニュー調理で加熱しない。



禁止

●過加熱となり食品が発火する原因になります。

子どもだけで使わせない。



禁止

●やけど・感電・ケガの原因となります。

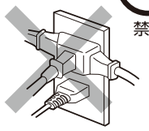


定格15A以上のコンセントを単独で使用し、たこ足配線や延長コードを使用しない。



禁止

●他の器具と併用すると他の器具やコンセントが異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。



お手入れの際は、必ず差込みプラグを抜く。
本体が冷めてから行う。



プラグを抜く

●感電や故障の原因になります。

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。



禁止

●感電やショートして発火の原因になります。

濡れた手で、差込みプラグやコンセントにさわらない。



禁止

●やけど・感電・ケガのおそれがあります。



調理中に差込みプラグを抜き差ししない。



禁止

●火災・感電の原因になります。

食品をプラスチックや紙の容器に入れて加熱しているときは発火の危険があるので目を離さない。



強制

熱に弱いものを近づけない。
カーテンの近くや、たたみ、じゅうたん、テーブルクロスの上に置いたりしない。



禁止

●ショート、感電のおそれがあります。

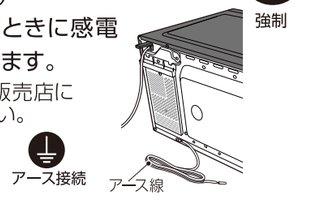
⚠ 警告

修理技術者以外が本体カバーやドアなどを外すサービスや修理を行なわない。
●マイクロ波で身体に障害を及ぼす危険があります。
禁止

ドアまたはドアシール面が破損した場合は、修理技術者による修理が行われるまでは使用しない。
●破損してやけどやケガのおそれがあります。
禁止

引火しやすいものは入れない。
●爆発・火災の原因になります。
禁止

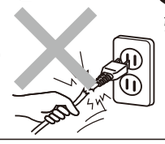
アースを確実に取り付ける。
(5ページ参照)
故障や漏電のときに感電することがあります。
●アース取付は販売店にご相談ください。
強制



乳幼児に哺乳用品や食品容器で調理したものを食べさせる前に、かき混ぜたり振ったりして温度を確認する。
●やけどの危険があります。
強制

⚠ 警告

差込みプラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く。
●コードが破損して感電やショート・発火の原因になります。
強制



容器のフタや栓をはずす。
膜や殻のある物は、切れ目や割れ目を入れる。
●容器や殻が割れて、やけどやケガのおそれがあります。
強制

長期間ご使用にならないときは、安全のため差込みプラグを持ってコンセントから抜く。
●ホコリがたまり発熱・発火の原因になります。
プラグを抜く



袋入りの食品は、必ず袋から出す。
特に内部がアルミ箔やレトルト食品や脱酸素剤が入っているもの。
●発火のおそれがあります。
強制

卵は割り、ほぐしてから加熱する。
ゆで卵は作らない、温め直しもしない。
●破裂してやけどやケガのおそれがあります。
禁止

ラップをはずすときは注意をする。
蒸気が一気に出るのでゆっくりはずす。
●やけどのおそれがあります。
高温注意



庫内底面に衝撃を加えたり、熱くなった状態で冷水につけない。
●破損による、ケガのおそれがあります。
禁止

食品や飲物は加熱しすぎない。
●食品は発煙、発火の原因となり、飲物は突然沸騰してやけどのおそれがあります。
禁止

異常時(こげ・臭いなど)は、運転を中止して差込みプラグを抜き、お買上げの販売店または、ご相談窓口にご相談ください。
●異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
プラグを抜く

庫内で食品が燃えたときはドアを開けない。
●開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。
ドアを閉めたまま運転を停止して差込みプラグをコンセントから抜いてください。燃えやすい物を遠ざけて、鎮火するのを待ってください。鎮火しないときは、消火器で消火してください。
そのまま使用せずに、販売店に点検を依頼してください。
禁止

アルミ箔・金属製食器や金銀箔などの装飾のある食器などを入れて加熱しない。
●火花が出て発煙・発火の原因になります。
禁止

衣類の乾燥など調理目的以外の使用はしない。
●異常動作による発火、やけどの原因になります。
禁止

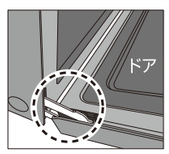
庫内底面には直接食品を置かない。
必ず食品用容器をご利用ください。
禁止

⚠ 注意

ドアを開けた時に、ドアの上に物を置かない。
●ドアの開閉で落下し、ケガをするおそれがあります。
こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電・火災の原因になります。
禁止

本体の上に物を置いたままで使用しない。また、布やカバーで吸気口や排気口をふさがない。
●故障の原因や熱で焦げや変形するおそれがあります。
壁との間をあけておく。
左右5cm以上、上方15cm以上、後方15cm以上
禁止

ドアやドアの金具に指を挟まないように注意をする。
●ケガや故障の原因となるおそれがあります。
注意



可燃性スプレーは近くで使わない。
●引火してやけどや故障の原因になります。
禁止

ドアに物をはさんだまま使用しない。
●電磁波漏れによる障害が起きることがあります。
禁止

庫内がカラのまま使用しない。
●本体や庫内が異常に加熱され、ヤケド・故障の原因になります。(P7のから焼きを除く)
禁止

湿気の多いところや、蒸気の出るところ、また水のかかるところへは設置しない。
●絶縁が悪くなり漏電の原因になります。
水場使用禁止

お願い

製品の近くでは無線LAN機器の通信性能が低下することがあります。
●無線LAN機器の取扱説明書などをお読みのうえご使用ください。

熱や蒸気から離す
●炊飯器・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。故障することがあります。蒸気がかからない位置でご使用ください。

テレビ・ラジオ・アンテナ線などから4m以上離す。
●画像や音声などが乱れる原因になります。

本体の移動の際は気をつける
●製品の左右側面下部を確実に持って、移動してください。また、製品を設置場所に置くとき、本体底面の角などで設置面を傷つけないように気をつけてください。

据え付けについて

据え付け場所

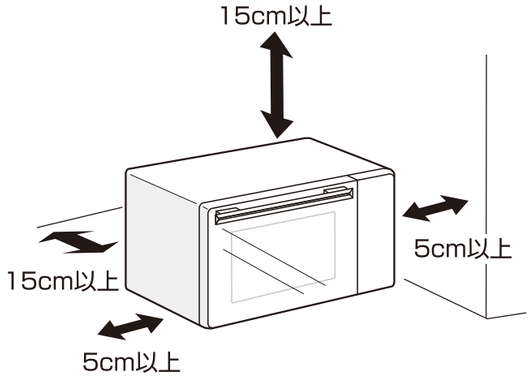
⚠ 注 意　不安定な場所には置かないでください。

■ 壁との間をあける

●排気口や吸気口をふさがないでください。
すき間が少ない場所で使用されると、過熱して発火するおそれがあります。

■ 風通しのよいところ

●製品の周囲は必ずすき間をあけてください。
(右図参照)
風通しが悪いと吸気が十分行われず、正常に作動しなくなります。



■ 水気・湿気の少ないところ

●湿気の多いところなどでは、故障、感電のおそれがあります。

■ アース線は必ず取り付けてください

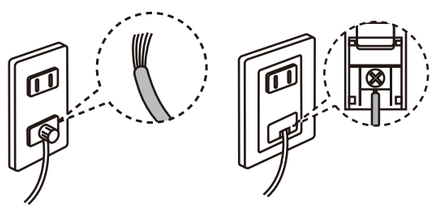
●絶対に、ガス管や水道管、電話や避雷針につながないでください。（法令で禁止されています。）

アースを確実に取り付ける。
故障や漏電の時に感電することがあります。

●アースの取付けはお買上げの販売店にご相談ください。

アース接続

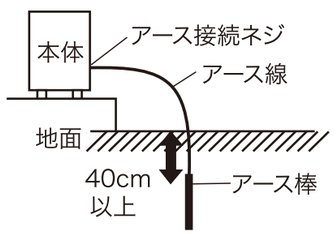
●アース端子付きコンセントを使用する場合
アース線が本体のアース端子に、しっかり接続していることを確認し、アース線先端の皮をむき、コンセントのアース端子につなぐ。



●アース端子がない場合
お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

●アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)が必要な据え付け場所
湿気の多い場所ー土間、コンクリート床、地下室、醸造、貯蔵所など。
水気のある場所（漏電遮断器も設置必要）ー鮮魚店、青果店の作業場で水を扱うところ、水滴の飛び散るところ、地下室など結露の起きやすいところ。

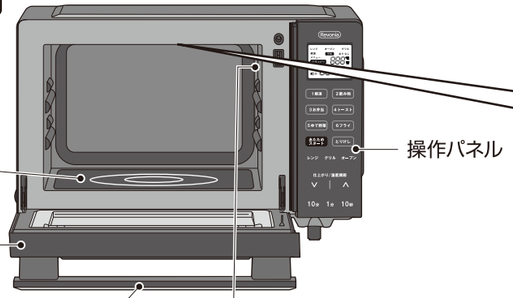
●アース線を接続できないもの
ガス管や水道管、電話器や、避雷針には絶対に接続しないでください。
法令で禁止されています。



各部のなまえ

⚠ 注 意　アルミ箔、ビニール、などを敷かないでください。
●正常に機能しなかったり、故障の原因になります。

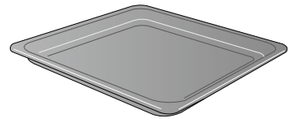
本体正面





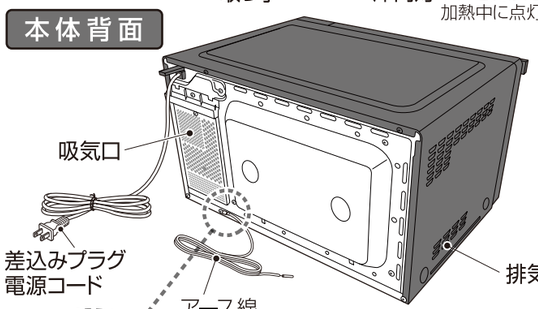
ヒーター
汚れないようにしてください。
力を加えないでください。

角皿(付属品)



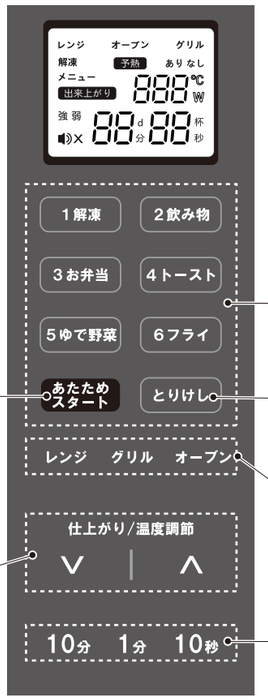
・オーブンやグリル調理をするときに使用します。
・レンジには使用しないでください。
火花が飛んで使用できません。

本体背面



アースネジ
アース線を接続する。

操作パネル



※ボタンはそれぞれ中央付近を指の腹で押してください。
ボタンの端の方は反応しない事があります。

プリセットメニューボタン
温度と時間の設定を自動で行います。

1 解凍	→P10
2 飲み物	→P11
3 お弁当	→P12
4 トースト(1枚／2枚)	→P13
5 ゆで野菜	→P14
6 フライ	→P15

スタートボタン
手動調理やプリセットメニューで加熱を開始するときに使います。

取消ボタン
設定を間違えたときや、加熱を途中で止めたいときに使います。

仕上がり／温度調節ボタン
プリセットメニューで仕上がりの調節や、オーブン加熱の温度合わせに使います。
スタートボタンを押す前（加熱前）に設定してください。

● 仕上がりの強弱の調節
∧ 加熱時間が長くなる。
∨ 加熱時間が短くなる。

手動調理ボタン
調理に合わせて手動で時間や温度を設定するときに使います。

時間設定ボタン
調理の時間を設定します。

正しい使いかた

■ 使用前の準備

「から焼き」をする

●初めて使用する前に、庫内の油分やニオイを取り除くために行ってください。
●煙やニオイが出ますので、窓を開けたり換気扇を回してください。
●煙やニオイに敏感なペットなどは、別の部屋に移してください。

1 製品を設置し、ドアを開けて庫内に何も入っていないことを確認する。



2 ドアを閉めてから、アースを確実に取り付ける(P5参照)。
差込みプラグを差し込む。

3 ドアの開け閉めを行い、[オーブン] ボタンを2回押して、予熱なしを選択、
次に [∧] を3回押して200℃に合わせる。
[あたため スタート] ボタンを押す。



4 [10分] ボタンを2回押して、20分に合わせる。



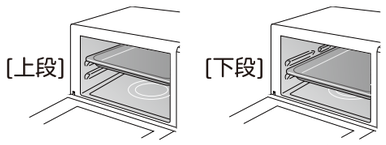
5 [あたため スタート] ボタンを押す。
庫内灯が点灯して、から焼きが始まります。このとき、残り時間が表示されます。

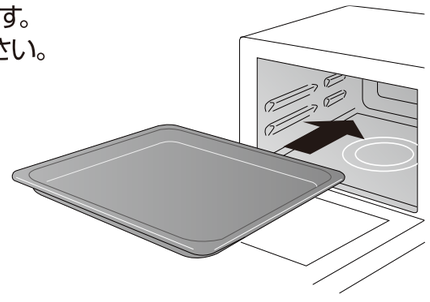
6 「から焼き」終了
電子音が鳴って庫内灯が消えます。(ドアを開閉しないと1分ごとに電子音が鳴り、5分後に表示が消えます。)
約1分間、冷却ファンが回ります。差込みプラグを抜かないでください。[とりけし] ボタンを押して完了してください。

注意
- 続けて調理を行う場合は、ドアを開けて庫内を十分冷ましてから行ってください。
- 連続して「から焼き」をしないでください。
- 庫内が熱くなっていますので、やけどなどにご注意ください。

■角皿の使いかた

●オーブンやグリルを使用するときは、角皿をセットしてください。
調理するものによって上段、または下段にセットします。
●レンジを使用するときは、角皿を使用しないでください。





注意
ご使用時には角皿や庫内の汚れをよく拭き取ってください。
発煙、発火のおそれがあります。

容器について

○使える容器　×使えない容器

容器の種類		レンジ	オーブン・グリル
ガラス	■耐熱性のあるもの	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。
	■耐熱性のないもの 強化ガラス、クリスタルガラス、カットグラスなど	×	×
プラスチック	■耐熱性のあるもの 耐熱温度140℃以上または「電子レンジ使用可」の表示があるもの	○ ●ふた部分だけが熱に弱いものがありますので、ご注意ください。 ●糖分や油分の多い料理は高温になり、変形したり、溶けたりするため、使えません。 ●時間をかけすぎると変形することがあります。	× ただし、「オーブン・トースター・グリル使用可」の表示のあるものは使えます。
	■熱に弱いもの (耐熱温度140℃未満)	× 溶けたり、変形するので使用できません。 ※スチロール、メラミン、フェノール樹脂、ユリア樹脂など ※耐熱温度表示100℃以下のポリエチレン	×
陶磁器	■陶器、磁器 よく確認して使ってください	○ ●ただし、絵付け、ヒビ模様、金や銀の装飾のあるものは、器を傷めたり、火花をおこすので使えません。 ●急に熱したり冷やすと割れることがあります。	× ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。
漆器など	■漆器、竹製品、木製品、紙	× ●漆器は塗りがはげたり、ひび割れたり、変色することがあり使えません。 ●クッキングシートも焦げたり、燃えたりして使えません。	× ただし、オーブン用のシートは使用できます。
金属	■アルミ、ステンレス、ホーローなどの金属 ■アルミホイル	× スパークして本体を傷めるため使えません。 金・銀箔のあるフィルムやテープ、針金の入ったテープなども使えません	○
その他	■ラップ (耐熱温度140℃以上)	○ ただし、糖分や油分などが多い料理は、高温になり、溶けるため使えません。	×
	■特殊な形状の容器	× 注ぎ口の細い容器などは、細い部分が集中的に加熱され突沸しやすく、やけどの原因になります。	×

調理のときのお願い

■ プリセットメニュー加熱のとき

- 加熱が足りないときは、手動加熱を使い、様子を見ながら加熱する
  プリセットメニュー加熱を使うと、もう一度始めから加熱することになり、食品が焦げたり、発火することがあります。
- 繰り返し加熱するときは、仕上がり/温度調節ボタンを使い様子を見ながら加熱する
  庫内が熱い場合は、うまく仕上がらない場合があります。
- 記載の材料や分量を守る
  材料や分量を変えるときは、手動加熱で様子を見ながら加熱してください。

■ レンジ加熱のとき

- 角皿、アルミホイルや金属類は、絶対に使用しない
  火花が出て、機器を傷めたり、火災や製品の故障するおそれがあります。
- 根菜などの少量加熱は耐熱容器に入れ、必ず浸るぐらいの水を入れる
  大根や芋などの水分が少ない食材を加熱する場合や少量(100g以下)の加熱は、火花の発生や食品が焦げたりして、故障の原因になります。

■ オーブン・グリル加熱のとき

- ラップやプラスチック容器は使わない
  溶けたり、発火するため使えません。
- できあがったら、すぐに庫内から取り出す
  余熱で焼きすぎる場合があります。

■ すべての加熱について

- 換気をしながら調理する
  煙が多く出る場合があります。
- 容器など、それぞれの加熱に合ったものを使う
- 少量の食品のとき(100g未満)は、自動で加熱しない
- 食品は、庫内中央に均等に置いて加熱する
  庫内端に置いて加熱すると、過加熱や突沸のおそれがあります。
- 繰り返し加熱するときは、仕上がり温度調節ボタンを使い、様子を見ながら加熱する
  庫内が熱い場合は、うまく仕上がらないことがあります。

便利な機能

オートオフ機能	●ドアを閉めて、何も操作をしないと電源が切れて、約1分後表示部の表示が消えます。 ●次の場合は、電源が切れません。【冷却ファンが回っているとき】
消音機能	● とりけし ボタンを3秒以上長押しすると表示部に 🔊X が表示され電子音がしなくなります。 ※電子音の消音を解除するときは、再び同じ操作をしてください。
チャイルドロック機能	● とりけし ボタンを押しながら あたため スタート ボタンを押してください。ブザーが鳴り表示部に「[ ] [ ]」と表示されます。このときは、どのボタンを押しても操作できなくなります。 ※チャイルドロックを解除するときは、再び同じ操作をしてください。

解凍する(プリセットメニュー1) レンジ

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて食品を庫内に入れる(中央に置いてください。)

- 冷蔵庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
  溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。
- 解凍する食品が複数の場合は、同じ種類で大きさをそろえてください。

※庫内端に置いて加熱すると、過熱や突沸のおそれがあります。

一度に加熱できる重量:100~600g (100g単位で設定できます。)

2 ドアを閉めて 1解凍 を押してください。

レンジ、解凍、メニュー、1, 100が表示されます。
再び 1解凍 を押すと重量の変更ができます。



●調理時間の目安

重　量	調理時間
100g	3分
200g	5分
300g	7分
400g	9分
500g	12分
600g	14分

3 あたため スタート を押してください。

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 出来上がり (加熱終了)

- 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
  ※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
- 5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。
- 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

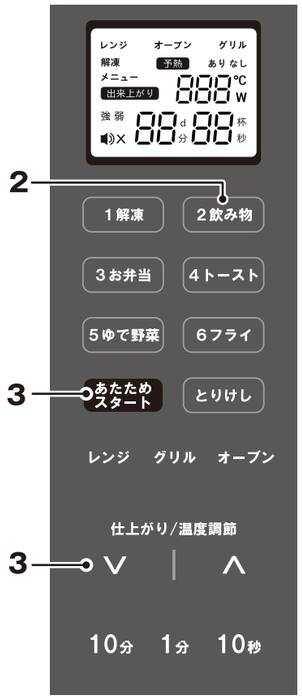
加熱が足りないとき

- 手動で レンジ 200Wに設定して様子を見ながら加熱してください。

飲み物をあたためる（プリセットメニュー2）

レンジ

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて飲み物を庫内に入れる（中央に置いてください。）

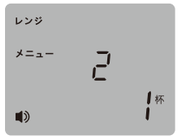
● 牛乳は低めの広口のマグカップ容器に、お酒は徳利に8分目まで入れてください。
※2杯以上加熱するときは、分量をそろえて中央に寄せて置いてください。
※庫内端において加熱すると、過加熱や突沸のおそれがあります。

一度に加熱できる分量：1〜2杯

加熱の基準量
- ●牛乳（1杯）……200ml
- ●酒（1杯）……180ml
- ●飲み物（1杯）…150ml

※飲み物はコーヒーを基準にしています。

2 ドアを閉めて 2飲み物 を押してください。
レンジ、メニュー、2、1杯が表示されます。



●調理時間の目安

杯数	出力レベル	調理時間
1	弱	1分30秒
	中（液晶表示なし）	1分40秒
	強	1分50秒
2	弱	2分40秒
	中（液晶表示なし）	2分50秒
	強	3分

仕上がりを調整したいとき

∧ 加熱時間が長くなる　∨ 加熱時間が短くなる

3 あたため スタート を押してください。
● 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 出来上がり（加熱終了）
● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

加熱が足りないとき

● 手動で レンジ 500Wに設定して様子を見ながら加熱してください。

注意
- ● ビンに入っている飲み物は、必ず耐熱容器に移しかえてください。
- ● ふたやラップをしないでください。
- ● 加熱前と加熱後には、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。
- ● 加熱し過ぎないでください。
- ● お酒を加熱するときは、弱めに調整してください。

お弁当をあたためる（プリセットメニュー3）

レンジ

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて食品を庫内に入れる（中央に置いてください。）
※庫内端において加熱すると、過熱や突沸のおそれがあります。

● 包装しているラップやふたは、変形したり溶けるものもあるため、必ず外してください。
● 調味料が入った容器や袋、ゆで卵、アルミケース、アルミホイルは破裂や発火の恐れがありますので、必ず取り出してください。

2 ドアを閉めて 3お弁当 を押してください。
レンジ、メニュー、3、4分30秒が表示されます。



●調理時間の目安

出力レベル	調理時間
弱	4分
中（液晶表示なし）	4分30秒
強	5分

仕上がりを調整したいとき

∧ 加熱時間が長くなる　∨ 加熱時間が短くなる

3 あたため スタート を押してください。
● 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 出来上がり（加熱終了）
● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

加熱が足りないとき

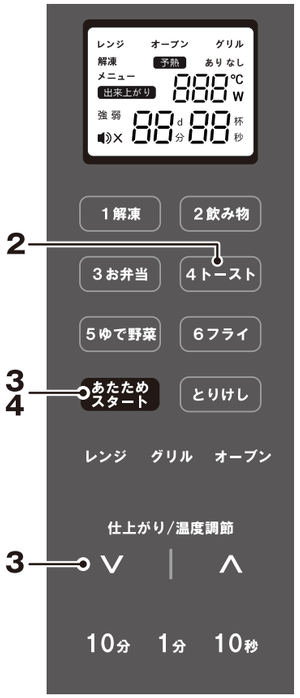
● 手動で レンジ 500Wに設定して様子を見ながら加熱してください。

注意
- ●加熱しすぎたり、少量を加熱すると発煙・発火の原因になります。

トーストを焼く（プリセットメニュー4）

グリル

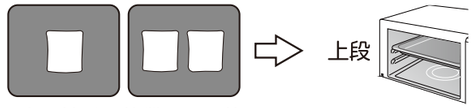
● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 食パンを角皿に置いてドアを開けて庫内に入れる。

※食パンを角皿の中央に置き、庫内の上段にセットしてください。



一度に焼ける枚数：1〜2枚

- 食パンの大きさや種類によって焼け具合が違います。様子を見ながら時間を調整してください。
- 連続して焼くときは、自動メニューを使わないでください。焼け過ぎてしまいますので、手動のグリル調理で行ってください。
- 食パンにバターやジャムなどを塗って焼かないでください。発火のおそれがあります。

2 ドアを閉めて 4トースト を押してください。

グリル、メニュー、4-1、5分00秒が表示されます。
再び、 4トースト を押すと枚数の変更ができます。



（例）食パン1枚



（例）食パン2枚

●調理時間の目安

枚数		出力レベル	調理時間
4-1	1	弱	4分40秒
		中（液晶表示なし）	5分
		強	5分10秒
4-2	2	弱	5分10秒
		中（液晶表示なし）	5分30秒
		強	5分50秒

仕上がりを調整したいとき

∧ 加熱時間が長くなる　∨ 加熱時間が短くなる

3 あたため スタート を押してください。

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 電子音が鳴り液晶が点滅したらドアを開けて手早くパンを裏返してドアを閉めを あたため スタート 押してください。

※片面焼きの場合は、 とりけし を押して出来上がりとなります。

5 出来上がり（加熱終了）

- 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
  ※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
- 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
- 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

加熱が足りないとき

- 手動で グリル 設定して様子を見ながら加熱してください。

⚠ 注意

- 続けて食パンを焼く場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから行ってください。
- 焼き上がった食パンの角皿に乗せた面は、水蒸気で柔らかくなります。角皿にオーブンレンジ用足つき網などを置き、その上に食パンを置くと柔らかくなることを防げますが、焼き過ぎになることがありますので、ご注意ください。
- 調理後は焼く庫内や角皿が熱くなっています。パンの出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分に注意してください。

野菜をゆでる（プリセットメニュー5）

レンジ

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて野菜を庫内に入れる（中央に置いてください。）

- 葉野菜は洗った後の水気を切らずラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして耐熱器に乗せます。
- 根菜は洗った後の水がついたまま耐熱性のある器に乗せ、ラップを食品に密着するように器ごとかけ、ラップの縁を若干開けておきます。

※庫内端に置いたり、ラップが食品に密着していない状態で加熱すると、過熱のおそれがあります。
※食材の大きさは、そろえておきます。
※水気は残して加熱してください。
※アクの強い野菜は、加熱の前後にアク抜きをしてください。

一度に加熱できる重量		
	葉果菜	100〜300g
	根　菜	150〜300g

2 ドアを閉めて 5ゆで野菜 を押してください。

レンジ、メニュー、5-1、2分30秒が表示されます。
再び、 5ゆで野菜 を押すと、重量が変更できます。



●調理時間の目安

重　量		出力レベル	調理時間
5-1	葉果菜100g〜150g 根菜150g〜200g	弱	2分
		中（液晶表示なし）	2分30秒
		強	3分
5-2	葉果菜150g〜300g 根菜200g〜300g	弱	4分
		中（液晶表示なし）	4分30秒
		強	5分

仕上がりを調整したいとき

∧ 加熱時間が長くなる　∨ 加熱時間が短くなる

3 あたため スタート を押してください。

- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 出来上がり（加熱終了）

- 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
  ※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
- 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
- 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

加熱が足りないとき

- 手動で レンジ 500Wに設定して様子を見ながら加熱してください。

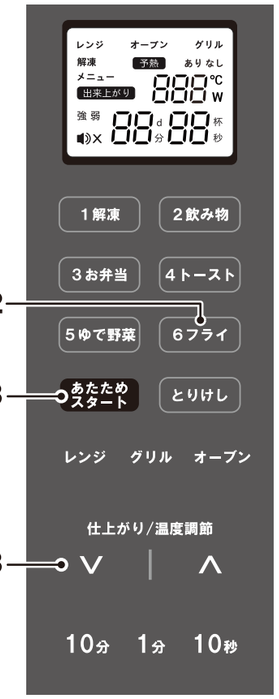
⚠ 注意

- じゃがいもなどを丸ごとゆでるときは、加熱後庫内から取り出しラップをしたまま5分ほど蒸らすと、ムラなく仕上がります。
- 加熱し過ぎたり、少量を加熱すると発煙・発火の原因になります。

フライをあたためる（プリセットメニュー6）

グリル

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 フライを角皿に置いてドアを開けて庫内に入れる。

● 角皿にフライを並べて、庫内の下段にセットしてください。

一度に加熱できる重量：100～300g

下段



2 ドアを閉めて 6フライ を押してください。

レンジ、グリル、6、5分30秒が表示されます。



● 調理時間の目安

出力レベル	調理時間
弱	5分
中（液晶表示なし）	5分30秒
強	6分

仕上がりを調整したいとき

∧ 加熱時間が長くなる　∨ 加熱時間が短くなる

3 あたため スタート を押してください。

● 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

4 出来上がり（加熱終了）

● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

加熱が足りないとき

● 手動で グリル に設定して様子を見ながら加熱してください。

注意
● 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

手動調理（レンジを使う）

レンジ

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて食品を庫内に入れる。

2 ドアを閉めて レンジ を押してください。

レンジ、650W(60Hzの場合)、0分00秒が表示されます。
レンジ を押すたびに出力が変更できます。



（例）60Hz地域の場合

お住まいの地域の周波数（50Hz）：500W⇒400W⇒200W
お住まいの地域の周波数（60Hz）：650W⇒500W⇒200W

設定できる時間
650W → 30分まで
500W → 30分まで
200W → 99分まで

60Hzでご使用のお客様へ
食品に記載されている加熱時間が出力600Wの場合、650Wで同じ時間で加熱を行ってください。

※当機は周波数によってレンジ出力が異なります。

3 10分　1分　10秒 を押して加熱時間を設定してください。

※時間を設定した後で出力を変えたい場合は とりけし ボタンを押して手順2からやり直してください。

4 あたため スタート を押してください。

● 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

5 出来上がり（加熱終了）

● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 食品の量が2倍になると、加熱時間は2倍弱になります。
● 加熱中は、途中で様子を見ながら調理してください。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

注意

飲み物などの加熱時にやけどを防ぐために

● 飲み物（お茶、コーヒー、牛乳、酒など）やシチューなどの油脂の多い食品、液体は加熱後、取り出した後に、突然沸騰して飛び散ってやけどのおそれがあります。加熱するときは、設定時間を控えて、加熱し過ぎないようにしてください。
● 広口で背の低い容器に8分目まで入れる。
● 加熱前や加熱後には、必ずスプーンでかき混ぜる。

加熱の目安

【あたため】食品は、庫内の中央に置きます。　　の食品は、ラップの使用をおすすめします。

	食品名	分量	ポイント
ごはん物	ごはん	1〜4人分 (約150〜600g)	固いときは霧吹きなどで水をかける。
	チャーハン		
	どんぶりもの		
汁物	みそ汁	1〜4人分 (約150〜600ml)	加熱後、かき混ぜる。
	コンソメスープ		
	ポタージュスープ		
焼物	焼き魚	1〜4人分 (約100〜400g)	ソース類は、加熱後にかける。 (飛び散りや、焦げ付きを防ぐため)
	ハンバーグ		
揚げ物	天ぷら	1〜4人分 (約100〜400g)	平らな皿に重ならないよう並べる。 仕上がりを弱めに設定する。 「12フライあたため」で加熱する。(P18参照)
	コロッケ		
	とんかつ		
炒め物	スパゲティー	1〜2人分 (約100〜400g)	加熱後、かき混ぜる。
	焼そば		
	野菜炒め		
蒸物	シュウマイ	1〜4人分 (約150〜600g)	平らな皿に重ならないよう並べる。
煮物	煮物	1〜4人分 (約150〜600g)	加熱後、かき混ぜる。
	カレー・シチュー		ラップが触れないように深めの耐熱容器に入れる。

【冷凍ものあたため】

	食品名	分量	ポイント
ごはん物	ごはん	1〜4人分(約150〜600g)	耐熱容器に入れて加熱する。
	チャーハン	1〜2人分(約250〜500g)	
汁物	コンソメスープ	1〜2人分 (約150〜400ml)	加熱後、かき混ぜる。
	ポタージュスープ		
焼物	ハンバーグ	1〜4個(約100〜400g)	仕上がりを強めに設定する。
炒め物	スパゲティー	1〜2人分 (約100〜300g)	加熱後、かき混ぜる。
	焼そば		
蒸物	シュウマイ	10〜20個(約100〜300g)	軽く水をかけ、キッチンペーパーなどを敷いた皿に乗せる。
煮物	カレー・シチュー	1〜2人分(約100〜400g)	加熱後、かき混ぜる。ラップが触れないように深めの耐熱容器に入れる。
その他	ミックスベジタブル	約100〜300g	耐熱容器に入れて加熱する。
	さやいんげん		

注意
- 少量(100g以下)の場合は加熱できないことがあります。食品の量を増やすか、容器を変えてください。
- 市販の食品に添付されている脱酸素剤は、絶対に加熱しないでください。高温になり発火して危険です。

手動調理(グリルを使う)

グリル

- 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



1 角皿に食品をのせてドアを開けて角皿を庫内に入れる。

2 ドアを閉めて [グリル] を押してください。
グリル、0分00秒が表示されます。



3 [10分 1分 10秒] を押して加熱時間を設定してください。
※10秒〜99分までの設定ができます。

4 [あたため スタート] を押してください。
- 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

5 出来上がり(加熱終了)
- 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
  ※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
- 5分後自動的に待機状態(表示部に何も表示がない)になります。
- 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

注意
- 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

途中で操作を止めるときは [とりけし] を押してください。

レンジ グリル オーブン 加熱のしくみ

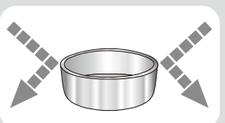
レンジ加熱　電波(高周波)が食品に当たると食品の水分が摩擦熱を起こし加熱します。

- 食品の種類・加熱前の温度によって加熱時間は、異なります。
- 食品の分量が2倍になると、加熱時間は2倍弱になります。
- 水分の少ない食品は、過熱して発火することがありますので注意してください。
- 市販の食品に添付されている脱酸素剤を加熱しないでください。異常高温になり危険です。
- 庫内に何も入れずに加熱しないでください。異常高温になり危険です。

電波の特性

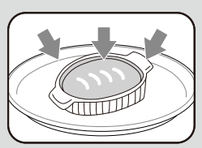

水分のある食品は吸収されます。


耐熱性のあるガラス容器陶器などは透過します。


金属製の器などは反射します。(使用できません。)

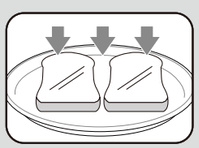
オーブン加熱

ヒーターの加熱を温度センサーで調整し、設定した庫内温度で焼き上げます。



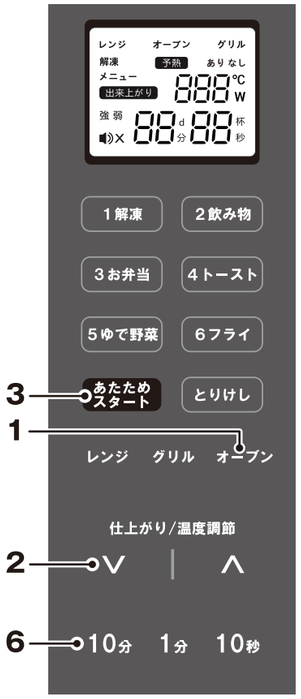
グリル加熱

ヒーターで加熱し、食品の表面に焼き色を付けたり、様子をみながら追加焼きをするときに使います。両面を焼くときは、調理の途中で食品を裏返します。



手動調理（オーブンを使う【予熱あり】）

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 ドアを開けて電源をいれます、
ドアを閉めて オーブン を押してください。

● このとき、角皿と食品は庫内に入れません。



2 ∨ ∧ を押して加熱温度を設定してください。

● 10℃単位で110℃～250℃の範囲で設定できます。
※予熱ありでは、40℃(発酵)は設定できません。

3 あたため スタート を押してください。

● 庫内灯が点灯し、予熱が始まります。このとき表示部に「- - - -」が表示されます。



4 出来上がり（予熱終了）

● 電子音が鳴り、予熱と温度が点滅し予熱完了をお知らせします。
完了後、そのままの状態だと、**一定間隔で音が鳴り続けます。**
※約15分間予熱を保持します。約15分以内に加熱時間を設定しないと
電子音が鳴り「0」表示に戻ります。

5 角皿に食品をのせ、ドアを開けて角皿を庫内に入れる。

6 10分 1分 10秒 を押して加熱時間を設定してください。

※設定範囲は10秒～99分までの設定ができます。

7 あたため スタート を押してください。

● 庫内灯が点灯し、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

8 出来上がり（加熱終了）

● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

注意	● 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

手動調理（オーブンを使う【予熱なし】）

● 表示部に何も表示がないときは、電源が入っていません。ドアを開けると電源が入り、「0」が表示されます。



途中で操作を止めるときは
とりけし を押してください。

1 角皿に食品をのせてドアを開けて角皿を庫内に入れる。

2 オーブン を2回押してください。
オーブン、予熱、なし、170℃が表示されます。



3 ∨ ∧ を押して温度を設定してください。

● 10℃単位で110℃～250℃の範囲で設定できます。
● 40℃（発酵）の設定を行いたい場合、
170℃...120℃⇒110℃⇒40℃の順で変わります。

通常加熱設定時



発酵設定時



4 あたため スタート を押してください。

5 10分 1分 10秒 を押して加熱時間を設定してください。

※設定範囲は10秒～99分までの設定ができます。

(例)加熱時間設定時



※「予熱」が表示されません。

6 あたため スタート を押してください。

● 庫内灯が点灯し、予熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

7 出来上がり（加熱終了）

● 電子音が鳴り庫内灯が消えます。
※加熱が終わった後ドアを開けないと、約5分間、1分ごとに電子音が鳴ります。
● 5分後自動的に待機状態（表示部に何も表示がない）になります。
● 調理中、調理後に冷却ファンが動作する事があります。

注意	● 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

レンジを上手に使うポイント

上手に加熱するために

●容器を必ず確認する（P10参照）
耐熱性のない容器やアルミホイルなどは、使用しないでください。

●卵はそのまま加熱しない
・破裂して危険です。卵を加熱するときは、殻を割ってから、よくほぐしてください。
・ゆで卵もあたためないでください。

●お弁当は1個ずつあたためる
・上下に積み重ねたりすると、うまくあたたまりません。
・調味料の容器、アルミケース、飾りなどを取り除いてからあたためてください。（P14参照）

●ゆでる（煮る）調理は、食材の厚みや大きさをそろえる
加熱ムラを少なくすることができます。

●加熱の途中でかき混ぜたり、裏返す
加熱ムラを少なくすることができます。

上手に解凍するために

手動で解凍するときは必ず200Wにする

●ラップ、ふた、飾りは取り除く
・発泡トレーのまま解凍できます。
・ラップなどに包んであった食品は、平皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

●冷凍した食品を常温で放置しない
・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
・溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。

●アルミホイルを活用する
形や厚みが均一でない食品は、薄いところや細いところの外周をアルミホイルで包むことで、解凍ムラを防ぐことができます。
※アルミホイルが庫内側面やドアに当たらないようにしてください。
※解凍以外には、アルミホイルを使わないでください。

●加熱調理後に解凍するとき
加熱調理後に、解凍するときはドアを開けて庫内を冷ましてから解凍してください。

葉菜・果菜をゆでるとき

洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせ、庫内中央に置いてください。

●葉菜類
・葉と茎を交互に重ねます。
・太い茎には、十文字に切り込みを入れます。
・アクのある野菜（ほうれん草、春菊、小松菜など）は加熱後、すぐに流水にさらして、アクを抜き、その後冷水に取って、色止めします。
・量が多いとき（200g以上）は、同量ずつ半分に分けてください。

●果菜類
・大きさを、そろえて切ります。
・アクのある野菜（なす、ブロッコリーなど）は、加熱前に食塩水につけてアクを抜きます。
・色の濃い野菜（なす、ブロッコリー、さやいんげん、グリーンアスパラなど）は、加熱後すぐに流水にさらし、その後冷水に取って色止めをします。

根菜をゆでるとき

水が付いたまま平皿に入れ、ラップを食品に密着する様に平皿ごとかけます。食品を密封させない様にラップのふちを若干あけて、平皿を必ず庫内中央に置いてください。

●丸ごとゆでるとき
・2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べてください。
・じゃがいもやさつまいも、さといもなどは、加熱後、庫内から取り出して、ラップをしたまま5分程度蒸らし、熱いうちに皮をむきます。

●切ってゆでるとき
皮をむき、大きさをそろえて切ってください。

【ラップをするもの】
●煮物、蒸し物、汁物、調理済み食品などしっとりと仕上げたいもの。（冷凍食品は、それぞれ記載のある加熱方法に従ってください。）
●野菜などを下ごしらえしたり、温野菜にするとき。
●容器のふちにぴったりと、食品部分にはゆとりを持たせてラップをかぶせてください。根菜は食品を密封させない様にラップのふちを若干あけて、器を必ず庫内中央に置いてください。
●カレーやシチューなどにラップが直接触れないようにかぶせてください。（油分が多いためラップが溶けるおそれがあります。）

【ラップをしないもの】
●揚げ物、焼き物、炒め物など水分を飛ばしぎみにしたいとき。

レンジ加熱の目安

●記載の加熱時間は、500W 設定での目安として参考にしてください。
●食品の種類や加熱前の温度などで仕上がりが異なりますので、加熱時間を短めにセットして、様子を見ながら加熱してください。
●加熱する分量が倍になれば、加熱時間も倍になり、ほぼ量に比例します。

注意　レンジ調理では角皿は使用しないでください。

【あたため】食品は、受皿の中央に置きます。　□の食品は、ラップの使用をおすすめします。

	食品名	分量	加熱時間	ポイント
室温もの・冷蔵もの	ごはん	1杯（150g）	約1分15秒	固いときは霧吹きなどで水をかける。
	チャーハン	1皿（250g）	約2分20秒	
	バターロール	1個（40g）	約10秒	食べる直前に加熱する。
	みそ汁	150mL	約1分45秒	
	焼き魚	1切（80g）	約50秒	
	煮魚	1切（100g）	約1分	
	ハンバーグ	1個（100g）	約1分10秒	
	天ぷら	100g	約40秒	キッチンペーパーや天ぷら敷き紙などに重ならないよう並べる。
	とんかつ	1枚（100g）	約40秒	
	シューマイ	10個（180g）	約1分45秒	ゆとりを持ってラップに包み、加熱後ラップをしたまま2〜3分蒸らす。
	肉まん	1個（80g）	約50秒	
	野菜炒め	150g	約2分20秒	
	煮物	200g	約2分20秒	
	カレー・シチュー	300g	約3分30秒	加熱後、かき混ぜる。
	牛乳	200mL	約1分10秒	加熱前と加熱後にかき混ぜる。
	お酒	1本（180mL）	約1分	
	お弁当	約400g	約3分	調味料の入った容器などを取り出す。
	どんぶりもの	約300g	約3分	
ゆで野菜	キャベツ	200g	約3分30秒	太い芯はあらかじめさいておく。
	にんじん	200g	約4分40秒	用途に合わせて切り、ひたひたの水を加える。
	じゃがいも	150g	約3分	途中で1度上下を返す。
	なす	100g	約2分20秒	塩水であく抜きをしておく。
	ブロッコリー	100g	約2分20秒	小房に分け、塩水であく抜きをしておく。

ムラなく加熱するには

●食品を庫内に直接置かず、平皿などにのせて加熱します。
●厚みや高さのある食品は、途中でひっくり返します。
●市販の冷凍食品の加熱は、袋などに記載されている加熱時間を参考にしてください。

注意

加熱し過ぎると発煙・発火します。

● あんまん・まんじゅうなどの「あん」は高温になると発煙します。
● 根菜類（ごぼう、れんこんなど）は水分が少なくなり発煙・発火することがあります。
● 飲み物は取り出すときに突然沸騰（突沸）してやけどをするおそれがあります。
● 「いか」など弾けやすいものは弾けてやけどをすることがあります。
● 乾燥したものや水分の少ないものは、発煙・発火することがあります。

お手入れについて

警告

安全のため、必ず差込みプラグを抜いてからお手入れをする。
●感電するおそれがあります。

使用後すぐは庫内が熱くなっていますので、庫内が冷めてからお手入れをする。
●やけどのおそれがあります。

機器を定期的に清掃し、食品くずや付着物を完全に取り除いてから使用する。
●発火や発煙のおそれがあります。

お手入れの方法

■やわらかい布でから拭き

やわらかい布でから拭きをしてください。
汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭きとっていただくと、汚れが取れやすくなります。
また、中性洗剤を使用した場合は、水を含ませた布で完全に拭き取った後、さらに乾いた布で拭いてください。

■揮発性のものは使わない

揮発性のもの（シンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなど）を使用すると、変形や割れが発生することがあります。

■差込みプラグの掃除

長い間ご使用になると、差込みプラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので差込みプラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。

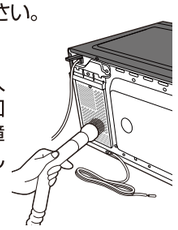
●発火のおそれがあります。

■ 庫内壁面・庫内底面・ドアの内側

●食品のカス、油汚れなどが付いた状態で使用すると、食品カスが燃えたり焦げたりすることがあります。長い間放置すると、通常より早く傷みます。金属たわしなどは使用しないでください。

■ 吸気口

●月に1度は、掃除機などでお手入れしてください。吸気口・排気口にホコリがたまっていると、故障の原因になったり、機能が低下し十分に性能を発揮できません。



お手入れのポイント

■ドア・取っ手

●ドアやドアシール面の汚れはぬるま湯や中性洗剤を含ませた柔らかい布で完全に拭き取ってください。
●取っ手は一番よく触れる部分ですので忘れずにお手入れしてください。

お手入れ後の安全点検

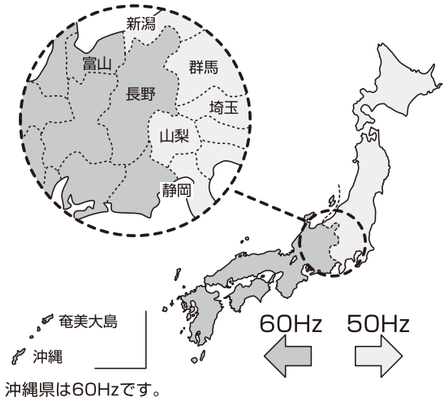
●電源コードが傷んでいませんか?
●差込みプラグに異常な発熱はありませんか?
●差込みプラグやコンセントにホコリが付着していませんか?
●差込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか?

このレンジの出力は、電源周波数50Hzまたは60Hzによって変わります。

電源周波数	出力切り替え
50Hz	500W/400W/200W
60Hz	650W/500W/200W

●引越しなどで電源周波数が変わりますと、レンジ加熱時の最大出力も変わります。
●引越しなどの移転先で電源周波数が不明なときは、お近くの電力会社にお問い合わせください。
●必ずアース線を取り付けてください。
●電源周波数は東日本では50Hz、西日本では60Hzです。
（右図参照）
静岡県での50Hzと60Hzの境界

50Hz地域	富士市、富士宮市、富士郡芝川町以東
60Hz地域	静岡県清水区、庵原郡富士川町、由比町以西



沖縄県は60Hzです。

修理サービスを依頼する前に

■異常が生じたときは、以下の点をお調べになり、それでも症状が改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

こんなとき	おたしかめください
動かない	●差込みプラグが抜けていませんか。 →しっかりと差込みプラグを差し込んでいますか。 ●配電盤のブレーカーが切れていませんか。 →お使いの電気製品を確認して、容量内でお使いください。 ●停電していませんか。 ●調理中にドアを開閉しませんでしたか。 →ドアをしっかり閉めてスタートボタンを押すか、または再度設定をしてください。
何も表示していない	●ドアを閉めてしばらくすると自動的に電源が切れます。（オートオフ機能） →ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。
操作ボタンを押しても反応しない	●表示部が「0」を表示していますか。 →ドアを開閉して、「0」表示がでたら操作してください。 →ドアを閉めてから１分以上経っていませんか。 ●チャイルドロックが設定されていませんか。（表示分に「88 88」が表示） →チャイルドロックを解除してください。（P9参照）
スタートボタンを押しても加熱しない	●ドアが完全に閉まっていますか。 →ドアを確実に閉めてください。 ●メニューを選びましたか。 ●出力、時間などの設定は行いましたか。
すぐに加熱が止まる	●庫内が熱くなっていませんか。 →庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を停止することがあります。 ドアを開けて庫内を冷ましてから加熱してください。
火花がでる（レンジ調理）	●金属容器やアルミホイル、金粉や銀粉などの飾りのある容器などを使っていませんか。 →使用できる容器に変えてください。（P8参照） ●庫内が汚れていませんか。調理物のカスや油などが付着していませんか。 →お手入れしてください。（P23参照）
煙がでたり、いやなにおいがする	●ご購入後に「から焼き」をしましたか。（P7参照） ●庫内やドアに、調理物のカスや油などが付着していませんか。 →ふき取ってください。
加熱中にヒーターがついたり消えたりする	●メニューによってヒーターの制御をしています。故障ではありません。
加熱中に音がする	●加熱中にブーン、ゴトゴト、カチカチ、ボコンといった音がする場合があります。 →ファンやアンテナの動作音、スイッチ音、壁面の膨張・収縮音などであり、故障ではありません。
ドアがくもり水滴が落ちる	●食品の水分が水蒸気となったものです。ふき取ってください。
操作音・終了電子音が鳴らない	●消音モードになっていませんか。 →消音モードを解除してください。（P9参照）
調理中、調理後に動作音がすることがある	●製品内部を冷却するために冷却ファンが動作した音であり、故障ではありません。
オーブン予熱ありを使用中に電子音が鳴る	●予熱完了後、そのままの状態の場合一定間隔で電子音が鳴り続けます。ドアを開けて調理を行って下さい。

修理サービスについて　よくお読みください

(1) 保証書

●この説明書の裏表紙に保証書がついています。
保証書は、お買上げの販売店で「販売店・お買上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間:お買上げ日から本体1年間

(2) 修理を依頼されるとき

●保証期間中でも
保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させて頂きますので、恐れ入りますが、製品と保証書・購入証明書をご持参ください。なお弊社への直接の修理の送料についてはお客様負担となりますので、あらかじめご了承ください。付属品は消耗品のため有料となります。

●保証期間を過ぎているときは
修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。製品名、品番、お買い上げ日、故障の状況(できるだけ具体的に)をご連絡ください。

●修理料金については
修理料金の内容は技術料、部品代となっております。
技術料:故障箇所の診断、修理及び部品交換、調整、修理完了時点検などの作業にかかる費用。
部品代:修理に使用した部品及び補助材料代。

(3) 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら

ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

●お客様ご自身での分解・修理は危険です。
修理には特殊な技術が必要です。


分解禁止

(5) 修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店、またはご相談窓口にご依頼ください。

仕　様

種　類		オーブンレンジ			
庫内寸法	幅	約300mm	定格電圧		100V
	奥行き	約327mm	定格周波数		50/60Hz
	高さ	約221mm	定格消費電力	電子レンジ	1000/1250W (50/60Hz)
外形寸法	幅	約486mm		オーブン	1350W
	奥行き(取っ手・突起部含む)	約430mm		グリル	1350W
	高さ	約312mm	定格高周波出力		500/650W
質量		約15kg	電熱装置の定格消費電力		1350W
コードの長さ		約1.4m	発振周波数		2450MHz
区分名		B	電流ヒューズ		20A
電子レンジの機能の年間消費電力量		62.3/61.6kWh/年	年間待機時消費電力量		0.0kWh/年
オーブン機能の年間消費電力量		10.4/10.7kWh/年	年間消費電力量		72.7/72.3kWh/年

※50Hz時:500W段階において、最初の15分間は100%出力で運転し、15分経過後は約350Wに低下する(通電23秒・休止10秒、サイクル33秒)。
※60Hz時:650W段階において、最初の15分間は100%出力で運転し、15分経過後は約375Wに低下する(通電19秒・休止14秒、サイクル33秒)。

- 年間消費電力量(kWh/年)は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 区分名は、省エネ法に基づき、機能、加熱方法、庫内要領の違いで分けています。
- 実際にお使いになるときの年間消費電力量は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変化します。
- ドアが閉まった状態で時間表示が消灯している時の消費電力は「0」Wです。
- 製品は日本国内用に設計されていますので、国外での使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

愛情点検	長年ご使用のオーブンレンジの点検を!
	こんな症状はありませんか ●電源コード、差込みプラグが異常に熱い ●電源コードに深いキズや変形がある ●焦げくさいにおいがする ●運転中に異常な音や振動がする ●製品本体に触れるとビリビリ電気を感じる ●その他異常や故障がある 以上のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご相談ください。